



## 渡邊 博美

一般社団法人東北経済連合会 副会長

### 全世代に元気を！スポーツの力

東日本大震災と原発事故、台風や豪雨被害、2度の震度6強の大地震そして3年目を迎える新型コロナウイルス感染症。自然災害に加えてロシアによるウクライナへの非人道的な侵略戦争。子供から大人までほとんどの人が閉塞感の中で心が折れた状況でした。復興五輪と期待された東京オリパラもほとんどの会場が無観客で開催地としては残念な大会でした。福島市のあづま球場で開幕した女子ソフトボールと野球はどちらも金メダルとなり最高の結果でした。アメリカのソフトボール監督が福島の桃(あかつき)を食べ「デリシャスこんな美味しいフルーツは食べたことがない」と賞讃され、果樹農家に笑顔が溢れました。また大相撲三月場所で福島市出身の大波三兄弟が活躍し、三男関脇若隆景は優勝決定戦の末、土俵際の逆転劇で高安に勝ち幕内最高優勝の栄に浴しました。幕内で三番目に軽い体重での快挙に地元はもちろん東北にも歓声が響いたのではないのでしょうか。優勝インタビューの中で「東日本大震災から11年経過しましたが、今も復興の途上にある方もいて自分が相撲で頑張ることが元気を与えることができればと思います。」と答え感動の空気が広がりました。私たち地元の経済団体や出身高校の方々が荒汐部屋の先代親方や大波三兄弟のご両親を訪れ後援会として三兄弟同時関取(十両以上)を実現したいとの趣旨で力を合わせてきました。次男の若元春も幕内中堅となり、長男の若隆元も幕下上位で頑張り、弟の若隆景の付人として素晴らしいサポートをしています。力士が本当に強くなるのは30才頃といわれ期待は高まります。五月場所も精一杯の相撲で東北の全世代に元気を贈ってほしいと思います。春の選抜高校野球の21世紀枠で福島県立只見高校がたった13人の全部員が全国の強豪校と戦いました。時に3メートルを超える豪雪地帯からの挑戦でした。東北と新潟にはたくさんの宝物が存在します。私たちは地元の文化、歴史、農海産物、そして何事にも真摯に取り組む粘り強い人間性を磨きあげ課題を克服していかなければならないと思います。「ないものねだり」をやめて、「あるもの探し」に舵をきっていきましょう。

(福島県商工会議所連合会 会長・わたなべ ひろみ)